

ぶどう膜炎後ろ向き疫学調査に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年2月5日～2022年3月31日

〔研究課題〕

ぶどう膜炎後ろ向き疫学調査

〔研究目的〕

日本のぶどう膜炎の原因疾患構成を調べるため。

〔研究意義〕

ぶどう膜炎の原因疾患構成は人種や世界の地域によって大きく異なることが分かっています。世界の他の国から報告されたものと日本のぶどう膜炎の原因は異なるため、独自に調べる必要があります。そこで、今回日本の眼炎症学会が中心となってわが国におけるぶどう膜炎の原因疾患について調査することとなりました。日本全国の大学病院を含む70のぶどう膜炎診療を行っている施設がこの調査に参加する予定です。この調査に帝京大学医学部附属溝口病院眼科も参加し、日本のぶどう膜炎の原因疾患構成解明を行いたいと考えています。

〔対象・研究方法〕

帝京大学医学部附属溝口病院眼科において平成28年4月1日から29年3月31日までにぶどう膜炎と診断された初診の患者さんを対象にします。対象人数は、研究全体3000名 帝京溝口病院患者50名です。あなたの年齢、性別、ぶどう膜炎の原因疾患名、罹患部位を診療記録より収集します。診断名が確定していれば、調査票の該当する疾患の患者数をひとつ増やします。決してこの調査票にはあなたの個人情報は記入されません。記入されるのは患者数のみです。また診断がついていない場合には、「原因不明」の患者数をひとつ増やします。この研究のために新たに検査する必要はありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院 眼科

その他、九州大学医学部を中心とした全国73施設

〔個人情報の取り扱い〕

あなたのカルテの個人情報をこの研究に使用する際には、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、帝京大学医学部附属溝口病院眼科内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。この研究によって取得した個人情報は、帝京大学医学部附属溝口病院・教授・石田 政弘の責任の下、厳重な管理を行います。九州大学への提供する情報には、それぞれの病名の患者数を提供し厳重な管理のもと解析が行われます。

また、この研究の成果を学会発表したり医学論文にする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。

〔その他〕

追加となる検査はありません。ご負担やお支払いの必要もございません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 帝京大学医学部附属溝口病院眼科 教授 石田 政弘

研究分担者： 帝京大学医学部附属溝口病院眼科 講師 竹山 明日香

住所： TEL： 044-844-3333 （代表）〔内線 8113〕